

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	近隣を散歩する際には挨拶をするなどして、ホーム側から継続的に働きかけている。地域夏まつり参加、公園等で地域との交流を図っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は、メンバーである地域包括支援センター職員・利用者・家族・民生委員・自治会長の参加で、2カ月に一回の開催がある。近況報告、意見交換をして、ホームと出席者との交流の場として活用している。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市担当職員とは良好な関係を構築しており、情報交換・収集を含め、ホームの運営に活かしている。また、管理者は地域貢献への意識が高く、市との協働を視野に入れながら様々な活動にチャレンジしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会を発足し、家族側からの忌憚のない意見を収集している。また、訪れやすく話しやすい場の確保に努め、聴き取った意見は速やかに解決すると共に、運営への反映を図っている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者は、地域でのグループホームの役割をよく理解し、地域貢献を考えた取組みにチャレンジしている。市の認知症ケアアドバイザー講習受講、認知症サポーター研修開催企画等、認知症ケアのプロとしての意識が高い。また、家族に対しても認知症の周知・理解を図り、利用者に対して最善・最適なサービスを提供できるように協働を図っている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。